

教材教具および題材	学部	授業名・集団名 (主たる教科領域)	執筆者
しし舞作り	小	学級活動 3年 (図画工作)	山崎安希子

<ねらい>

イメージを膨らませながら、いろいろな方法や道具を使い、描いたり作ったりする活動を楽しむ。

<内容(作成方法・使用方法・工夫点など)>

- 1 絵本の読み聞かせ
- 2 BGMにししまいをのせながら、子どもや教師の頭を噛むなどして、作る前に期待感を持たせる
- 3 作り方の見本を見せる。
- 4 しし舞作りをする
 - ①目、鼻、眉毛 を貼る
 - ②歯を描く (縦線)
 - ③風呂敷に模様を描く (くるくる) 白のポスカで
- 5 しし舞で遊ぶ
- 6 それぞれの作品の良かったところを伝え合い、みんなで作品を鑑賞する。

- ・絵本「すいすいたこたこ」「あけましておめでとう」など。
- ・BGM 動画 ♪お囃子 より

どこをかもうかな?



<良かった点・改善点(児童生徒の反応を含め)>

(*^o^*)・できあがる物はみな同じだが、個々の実態に応じて、目・鼻・口は切るところから取り組む等内容に変化を持たせることができ良かった。

(*^o^*)・作る授業ではあるが、ただ作るだけでは気持ちが向きにくい子どもがいたため、見本のしし舞でたっぷり遊び込み、イメージや作る動機付けを持たせて取り組んだことは良かった。

><・1回の授業で終わってしまう。

><・準備を1人ですると、見本・児童数の計5つで、半日かかった。

→しし舞の関心がとても高かったので、大きいのをみんなで作ったり、描画に組んだり、本物のしし舞でもっと体験的な遊びをしても良かったかもしれない。

→準備に時間はかかるが、子ども達がとっても楽しそうに作っていたり、学級の飾りや作品展にも出展できたり、活用度も高かったので良しとします。

<その他(材料、費用、購入先等)>

箱ティッシュ(廃材)、いろ画用紙(赤、黄色、白、黒)、緑のビニール袋、ポスカ